

年度		教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2025		国語	現代の国語	必修	2	6	2	2
使用教科書		東京書籍		新編 現代の国語				
指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ・現代の評論を読み、物事の本質を深く考える姿勢を身につける。 ・文章の内容や構成を捉え、要旨を把握する力を養う。 ・作品から読み取れる筆者の考えや主題を正しく理解する。 						

単元	教科書p	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
1 自己を見 つめる	6～11 12～17	こそそめスープ(村田沙耶香) ルリボシカミキリの青(福岡伸一)	5月30日	第1回 8 月27日	8月19日
2 他者に出 会う	24～30 33～38	未来をつくる想像力(石田英敬) 水の東西(山崎正和)	6月30日		
3 視野を広 げる	68～77 78～85 87～92	スキマが育む都市の緑と生命のつながり(塚谷裕一) 無彩の色(港千尋) ハサミ(澤田瞳子)	7月31日		
4 社会と関 わる	100～105 106～115 116～123	鍋洗いの日々(村上信夫) 森で染める人(鈴木菜々子) 動きを引き出す言葉の力(為末大)	9月30日	第2回 2 月26日	2月6日
5 世界とつ ながる	152～159 160～168 169～176	美しさの発見(高階秀爾) りんごのほっぺ(渡辺美佐子) 人生という旅の豊かな人間関係(小川さやか)	10月31日		
6 未来に目 を向ける	184～189 193～201	天動説はなぜ「正しかった」か?(多田将) 真の自立とは(鷲田清一)	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2025	国語	言語文化	必修	2	6	1	2
使用教科書	東京書籍		新編 言語文化				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化への理解を深める文章を読み、日本の伝統文化や価値観を意識し、将来の社会の担い手としての自覚を育てる。 ・作品を通して筆者の考えや作者の思いを正しく理解し、それに対する自分の意見を持つ。 ・古文、漢文の基礎知識を習得し、作品の鑑賞力を磨く。 						

単元	教科書P	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
No.1 【現代文】	P10~P48	さくらさくらさくら 心の自由 とんかつ オレンジの実る中庭	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月21日
No.2 【現代文】	P54~ P69	柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born	6月30日		
No.3 【現代文】	P76~ P120	羅生門 夢十夜 デューク	7月31日		
No.4 【古文】	P146~ P171	徒然草 枕草子 折々のうた	9月30日	第2回 2月24日 ~27日	2月5日
No.5 【古文】	P178~ P201	伊勢物語 平家物語 奥の細道	10月31日		
No.6 【漢文】	P218~ P261	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクリング時数	テスト回数
2025	国語	言語文化	必修	2	6	2	2
使用教科書	東京書籍		新編 言語文化				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化への理解を深める文章を読み、日本の伝統文化や価値観を意識し、将来の社会の担い手としての自覚を育てる。 ・作品を通して筆者の考えや作者の思いを正しく理解し、それに対する自分の意見を持つ。 ・古文、漢文の基礎知識を習得し、作品の鑑賞力を磨く。 						

単元	教科書P	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクリング 日
No.1 【現代文】	P10~P48	さくらさくらさくら 心の自由 とんかつ オレンジの実る中庭	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月21日
No.2 【現代文】	P54~ P69	柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born	6月30日		
No.3 【現代文】	P76~ P120	羅生門 夢十夜 デューク	7月31日		
No.4 【古文】	P146~ P171	徒然草 枕草子 折々のうた	9月30日	第2回 2月24日 ~27日	2月5日
No.5 【古文】	P178~ P201	伊勢物語 平家物語 奥の細道	10月31日		
No.6 【漢文】	P218~ P261	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2025	国語	論理国語	選択	4	12	4	2
使用教科書	東京書籍		新編 論理国語				
指導目標	現代の論理的文章にふれ、物事の本質を深く考える思考力と感性を伸ばす。文章の内容や構成、論展開を根拠をもって捉え、要旨と筆者の主張を把握する力を伸ばす。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
NO1	p8~24 対話とは何か 世界をつくり替えるために	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月19日
NO2	p26~54 少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ			
NO3	p56~74 学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」	6月30日		
NO4	p76~100 思考の肺活量 安心について			
NO5	p102~122 弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	7月31日		
NO6	p124~166 はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと			
NO7	p168~184 最初のペンギン 豊かさとは生物多様性	9月30日		
NO8	p186~208 物語の外から カフェの开店準備			
NO9	p210~230 鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	10月31日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日
NO10	p232~260 言葉は「物の名前」ではない 科学的「発見」とは			
NO11	p262~280 知識における作者性と構造的性 もう一つの知性	1月20日		
NO12	p282~301 ホンモノのおカネの作り方 未来のありか			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	国語	古典探究	選択	4	12	4	2
使用教科書	東京書籍		新編古典探究				
指導目標	古文の文法や古語、漢文の句法や漢字などの基礎の習得のもとに、古典常識や文学史の知識、中国の歴史なども踏まえ、古文・漢文を文学として読解できる力を育てる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
No1 【古文】	P10~28 ・宇治拾遺物語 ・十訓抄 ・徒然草	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月19日
No2 【古文】	P29~52 ・方丈記 ・竹取物語 ・小倉百人一首の世界			
No3 【古文】	P54~74 ・土佐日記 ・更級日記 ・平家物語	6月30日		
No4 【古文】	P76~92 ・世間胸算用 ・おらが春 ・枕草子			
No5 【古文】	P94~116 ・伊勢物語 ・大和物語 ・大鏡	7月31日		
No6 【古文】	P118~138 ・袋草紙 ・無名抄 ・古今和歌集仮名序 ・源氏物語			
No7 【古文】	P140~156 ・近世俳句抄 ・去来抄 ・三冊子 ・古事記	10月 15日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日
No8 【漢文】	P158~180 ・小話一四編 ・唐詩一八種 ・文一二編			
No9 【漢文】	P182~206 ・項羽と劉邦 ・寓話一五編	11月 30日		
No10 【漢文】	P208~226 ・十八史略 ・小話一三編			
No11 【漢文】	P228~248 ・古体詩一五首 ・廉頗と藺相如	1月20日		
No12 【漢文】	P250~270 ・儒家と道家 ・詩一二首 ・信玄と謙信			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	地理歴史	地理総合	必修	2	6	2	2
使用教科書	東京書籍		地理総合				
指導目標	多様な立場・価値観に気付くなかで、地球市民として、世界や地域の持続可能な将来像を構想し、課題解決を図る資質・能力を身に付ける。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	第1章 地図と地理情報システム	5月28日	第1回 8月25日～27日	8月18日
	第2章 資料から読み取る現代世界	6月30日		
第2編 国際理解と国際協力	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	7月31日	第2回 2月24日～27日	2027年 2月4日
	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候			
	4節 生活文化と社会環境①産業 5節 生活文化と社会環境②宗教・民族	9月30日		
	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題			
第3編 持続可能な地域づくりと私たち	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 7節 持続可能な社会の実現をめざして	10月31日		
	第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	地歴	歴史総合	必修	2	6	2	2
使用教科書	東京書籍		歴史総合				
指導目標	18世紀以降の世界と日本の歴史を理解し、近代化・国際秩序の変化や大衆化・グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関係性について考察する。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
序章 第1章 近代化と私たち	序章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	5月28日	第1回 8月25日～27日	8月18日
	3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題	6月30日		
第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	7月31日		
	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	9月30日		
第3章 グローバル化と私たち	第3章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	10月31日	第2回 2月24日～27日	2027年2月4日
	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクリング時数	テスト回数
2026	地理歴史	日本史探究	選択	3	9	3	2
使用教科書	東京書籍		日本史探究				
指導目標	社会的事象等について、事実や概念に関わる知識を理解し、その知識を身につける。 社会的事象等の情報を比べたり結びつけたりして、調べまどめる技能を身につける。 社会的な見方・考え方をうい、事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察できる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクリング日
第1編	第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	5月31日	第1回 8月25日	8月18日
	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4 2節			
第2編	第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節	7月18日		
	第3章 中世社会の展開 2節			
第3編	第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1	9月30日		
	第3章 近世社会の展開 1節 2・3・4・5 第3章 近世社会の展開 2節	10月31日		
第4編	第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節	11月30日	第2回 2027年 2月24日	2027年 2月4日
	第3章 近現代社会の展望 2節・3節・4節	2027年 1月20日		
	第3章 近現代社会の展望 5節・6節・7節・8節 第4章 現代の日本の課題の探究			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	地理歴史	世界史探究	選択	3	9	3	2
使用教科書	東京書籍		世界史探究				
指導目標	世界の歴史と日本の歴史を関連づけながら、事象を理解し、過去の出来事からよりよい世界を形成するための課題を探究する。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
No.1～No.3	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	5月30日	第1回 8 月25日～ 27日	8月18日
	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア			
	第6章 アフリカ, オセアニア, 古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	6月30日		
No.4～No.5	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	7月31日	第2回 2 月24日～ 27日	2027年 2月4日
	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大			
No.6～7	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	9月30日		
	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行			
No.8	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	10月31日	第2回 2 月24日～ 27日	2027年 2月4日
No.9	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	公民	公共	必修	2	6	2	2
使用教科書	東京書籍		公共				
指導目標	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
第1部 「公共」のとびら	1章 公共的な空間をつくる私たち 2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 3章 公共的な空間における基本的原理	5月28日	第1回 8月25日～27日	8月18日
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	1章 民主政治と私たち 民主政治と政治参加	6月30日		
	2章 法の働きと私たち 法や規範の意義と役割／市民生活と私法／国民の司法参加	7月31日		
	3章 経済社会で生きる私たち 現代の経済と市場／市場経済における金融の働き／財政の役割と持続可能な社会保障制度	9月30日	第2回 2月24日～27日	2027年2月4日
	4章 私たちの職業生活 働くことの意義と職業選択／労働者の権利と雇用・労働問題 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 国際社会のルールとしくみ／国際社会と平和主義／国際平和への課題／グローバル化する国際経済	10月31日		
第3部 持続可能な社会づくり	1 探究のイメージをつかもう 2 探究プロセス	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング 時数	テスト回数
2026	数学	数学 I	必修	3	9	3	2
使用教科書	東京書籍		改定版 新数学 I				
指導目標	数と式、図形と計算、2次関数及びデータの分析について理解させ、事象を数学的に考察する能力を培い、それらを進んで活用する態度を育てる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
第1章 数と式	第1節 文字と式	5月30日	第1回 8 月25日～ 27日	8月3日～ 8日
	第2節 実数	5月30日		
	第3節 方程式と不等式	6月30日		
第2章 2次関数	第1節 2次関数とそのグラフ	7月31日		
	第2節 2次関数の値の変化	7月31日		
第3章 三角比	第1節 鋭角の三角比	9月30日		
	第2章 三角比の応用	10月 31日		
第4章 データの 分析	第1節 データの分析	1月20日	第2回 2 月24日～ 27日	2月3日～ 6日
第5章 集合と論証	第1節 集合と論証	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	数学	数学Ⅱ	選択	4	12	4	2
使用教科書	東京書籍		新数学Ⅱ				
指導目標	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに, それらを活用する態度を育てる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
1章 方程式・式 と証明	1節 式の計算	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月3日~ 8日
	2節 2次方程式	5月30日		
	3節 高次方程式 4節 式と証明	6月30日		
2章 図形と方程 式	1節 座標と直線の方程式	6月30日		
	2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	7月31日		
	1節 三角関数	7月31日		
3章 三角関数	2節 加法定理	9月30日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日~ 6日
	1節 指数関数 2節 対数関数	9月30日		
4章 指数関数と 対数関数	1節 指数関数	9月30日		
	2節 対数関数	10月31日		
第5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数	10月31日		
	2節 導関数の応用	1月20日		
	3節 積分	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	数学	数学A	選択	3	6	2	2
使用教科書	東京書籍		改訂版 新数学A				
指導目標	場合の数と確率, 図形の性質または整数の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を養い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
1章 場合の数と確率	1節 場合の数	5月30日	第1回 8月25日～27日	8月3日～8日
	2節 確率	6月30日		
2章 図形の性質	1節 平面図形の基礎	7月31日		
	2節 三角形の性質	9月30日		
	3節 円の性質 4節 空間図形	10月31日		
第3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	数学	数学B	選択	3	6	2	2
使用教科書	東京書籍		数学B Standard				
指導目標	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
1章 数列	1節 数列	5月30日	第1回 8月25日～27日	8月3日～8日
	2節 いろいろな数列	6月30日		
	3節 漸化式と数学的帰納法	7月31日		
2章 統計的な推測	1節 標本調査 2節 確率分布	9月30日	第2回 2月24日～27日	2月3日～6日
	3節 正規分布	10月31日		
	4節 統計的な推測	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	理科	科学と人間生活	必	2	6	8	2
使用教科書	東京書籍		改訂 科学と人間生活				
指導目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日		
1編 生命の科学	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	5月30日	第1回 8月25日 ～27日	8月18日 ～21日		
	2章 ヒトの生命現象	6月30日				
2編 物質の科学	1章 衣料と食品	7月31日			第2回 2月24日 ～27日	2月3日～ 6日
	2章 材料とその再利用					
3編 光や熱の科学	1章 光の性質とその利用	9月30日	第2回 2月24日 ～27日	2月3日～ 6日		
	2章 熱の性質とその利用	10月31日				
4編 宇宙や地球の科学	1章 自然景観と自然災害	11月30日			第2回 2月24日 ～27日	2月3日～ 6日
	2章 太陽と地球	1月20日				

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	理科	化学基礎	選	2	6	8	2
使用教科書	東京書籍		改訂 新編化学基礎				
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
1編 物質の構成	1章 物質の成分と構成元素	5月30日	第1回 8月25日～27日	8月18日～21日
	2章 原子の構造と元素の周期表	6月30日		
	3章 化学結合	7月31日		
2編 物質の変化	2章 酸と塩基	10月15日	第2回 2月24日～27日	2月3日～6日
	2章 酸と塩基	11月30日		
	3章 酸化還元反応	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	理科	生物基礎	選必	2	6	8	2
使用教科書	東京書籍		改訂 新編生物基礎				
指導目標	生物や生物現象を日常生活や社会と関連付け、観察・実験を通して科学的に探究する力と態度、および生命を尊重し自然環境の保全に寄与する姿勢の育成を目指す。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
1編 生物の特徴	1章 生物の多様性と共通性 ・多様性・共通性と細胞の特徴 2章 生物とエネルギー ・異化・同化とATP	5月30日	第1回 8月25日～27日	8月18日～21日
2編 遺伝子とそのはたらき	1章 遺伝情報とDNA ・DNAの構造と複製 2章 遺伝情報とタンパク質 ・タンパク質の合成	6月30日		
3編 ヒトの体の調節	1章 ヒトの体を調節するしくみ ・自律神経系と内分泌系	7月31日		
	2章 免疫のはたらき ・免疫のしくみと免疫異常	9月30日		
4編 生物の多様性と生態系	1章 植生と遷移 ・植生の遷移とバイオーム	10月31日	第2回 2月24日～27日	2月3日～6日
	2章 生態系と生物の多様性 ・生物間の相互作用と生態系の保全	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	保健体育	体育 I	必修	2	2	10	0
使用教科書	大修館書店		現代高等保健体育				
指導目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的実践を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続する。自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成する。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・陸上競技(短距離走) ・バレーボール ・バスケットボール 	7月31日	第1回 8月26日	8月18日
I単元	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・オリンピックとパラリンピックの意義 			
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(長距離走) ・バドミントン ・卓球 ・剣道 	1月20日	第2回 2月24日	2月3日
I単元	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境 			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	保健体育	体育Ⅱ	必修	2	2	10	0
使用教科書	大修館書店		現代高等保健体育				
指導目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的実践を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続する。自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成する。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトテニス ・陸上競技(リレー) ・器械運動 ・バレーボール 	7月31日	第1回 8月26日	8月18日
2単元	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技能と戦術 ・技能の上達課程と練習 			
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス(現代的なリズムのダンス) ・ソフトボール ・剣道 	1月20日	第2回 2月24日	2月3日
2単元	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な動きのメカニズム ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保 			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	保健体育	体育Ⅲ	必修	3	3	15	0
使用教科書	大修館書店		現代高等保健体育				
指導目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的実践を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続する。自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成する。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・バスケットボール ・サッカー ・陸上競技(ハードル走) 	7月31日	第1回 8月26日	8月18日
3単元	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ 			
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 選択球技 ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン 	10月 31日	第2回 2月24日	2月3日
3単元	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造 	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	保健体育	保健 I	必修	1	3	1	2
使用教科書	大修館書店		現代高等保健体育				
指導目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身につける						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
1単元 現代社会と 健康	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	7月31日	第1回 8月26日	8月18日
1単元 現代社会と 健康	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	10月 31日	第2回 2月24日	2月3日
2単元 安全な社会 生活	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	保健体育	保健Ⅱ	必修	1	3	1	2
使用教科書	大修館書店		現代高等保健体育				
指導目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身につける						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
3単元 生涯を通じ る健康	<ul style="list-style-type: none"> 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 	7月31日	第1回 8月26日	8月18日
4単元 健康を支え る環境つくり	<ul style="list-style-type: none"> 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁, 土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 	10月 31日	第2回 2月24日	2月3日
	<ul style="list-style-type: none"> 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクリング時数	テスト回数
2026	芸術	音楽I	選択	2	6	8	0
使用教科書	大修館書店		Tutti +				
指導目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と広く関わる資質・能力を身に付ける。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクリング 日
歌唱分野	・発声や発音を学ぶ ※レポート提出 「Caro mio ben」(イタリア歌曲) 「野ばら」(ドイツ歌曲)	5月30日	なし	8月18日 ~21日
デジタル 器楽分野	・デジタル機器による奏法表現 箏、ギター①	②にて実施		
鑑賞分野	・西洋音楽史 ※レポート提出 中世ルネサンス~近現代	6月30日		
創作分野	・音楽理論 ~記譜法、リズム~ ・変奏曲をつくる「きらきら星」 ※作品提出	7月31日		
歌唱分野	・発声や発音を学ぶ ※レポート提出 「この道」(日本歌曲) 「Tonight」(ミュージカルソング)	9月30日	なし	2月3日~ 6日
鑑賞分野	・日本の伝統芸能 ※レポート提出 歌舞伎	10月31日		
デジタル 器楽分野	・デジタル機器による奏法表現 ※レポート提出 箏、ギター②			
創作分野	・音楽理論 ~記譜法、音程、和音、コードネーム~ ・コードに合わせて旋律をつくる ※作品提出	1月20日		
鑑賞分野	・総合芸術の魅力 ※レポート提出 オペラ、バレエ音楽、ミュージカル			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクリング [※] 時数	テスト回数
2025	芸術	美術 I	選択	2	6	8	0
使用教科書	なし		メタモジ美術ノートの各ページに課題の進め方を示す。				
指導目標	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクリング [※] 日
絵画分野	対象を丹念に観察し、細部まで描写することで、様々な気づきを得る。 (作品提出)	5月30日	なし	8月18日 ～21日
絵画分野	以下の内容どちらかを選択 ①NHK「日曜美術館」の絵画について扱った回を視聴し、多様な表現について知る。(レポート提出) ②NHK高校講座5, 6, 7のいずれかを視聴しワークシートを完成させる。(レポート提出)	6月30日		
デジタルアート・映像表現	映像、写真表現の可能性を探る。(作品提出)	7月31日		
鑑賞	以下の内容どちらかを選択 ①NHK「日曜美術館」絵画以外の表現について扱った回を視聴し、多様な表現について知る。(レポート提出) ②NHK高校講座11, 12, 13のいずれかを視聴しワークシートを完成させる。(レポート提出)	9月30日		
デザイン分野	優れたデザインに触れる。	10月31日		
	生活を豊かにするデザインを考える。(作品提出)		なし	2月3日～6日
鑑賞	芸術表現に関する映画の鑑賞(レポート提出) 2時間分	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング 時数	テスト回数
2026	外国語	英語コミュニケーション I	必	3	9	12	2
使用教科書	東京書籍		All Aboard! English Communication I Revised				
指導目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	Breakfast around the World Australia's Cute Quokkas	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月18日 ~21日
	Life with Spade			
	A Miracle Mirror	6月30日		
Lesson5 Reading1 Lesson6	A Dream Engine Short Stories in English	7月31日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日~ 6日
	A Funny Picture from the Edo Period			
Lesson7 Lesson8	A Diary of Hope	9月 30日		
	A Door to a New Life			
Lesson9	Ghosts in the Oceans	10月 31日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日~ 6日
Lesson10 Reading2	Pigs from across the Sea Mujina	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	外国語	英語コミュニケーションⅡ	選	4	12	16	2
使用教科書	東京書籍		All Aboard! English Communication Ⅱ				
指導目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
Pre-Lesson Lesson1 Lesson2	My Plans for This Year A Colorful Island With the Beatles	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月18日 ~21日
Lesson3 Lesson4	Wild Men Little Hero	6月30日		
Lesson5 Reading1	Special Makeup in Kabuki Mujina	7月31日		
Lesson6 Lesson7	Seeds for Future Generations Over the Wall	9月30日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日 ~6日
Lesson8 Lesson9	Inspiration from Nature The Bitter Truth behind Chocolate	10月 31日		
Lesson10 Reading2	Fighting Angel Bear's Pie	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	外国語	論理・表現 I	選	2	6	8	2
使用教科書	東京書籍		NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised				
指導目標	<p>1. 「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。</p> <p>2. コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。</p>						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及 び時期	スクーリング 日
Unit1 Lesson 1~6	<ul style="list-style-type: none"> 初めての食事 [褒める/勧める/断る] 道に迷う [提案する/依頼する/道順を説明する] 人物紹介 [身近な人を紹介する/注意を引く] 	5月30日	第1回 8月25日~ 27日	8月18日~21 日
	<ul style="list-style-type: none"> 体調が悪い [体調を伝える/体調を尋ねる/指示・アドバイスを する] 買い物 [描写する/相づちを打つ] 行ってみたい場所 [希望を述べる/理由を述べる] 	6月30日		
Lesson 7~9	<ul style="list-style-type: none"> イベントに誘われる [誘う/誘いを受ける/誘いを断る] スクールカウンセラーに相談 [状況を説明する/手助けを申し 出る/助言・提案する/お礼や感謝を伝える] お気に入りの紹介 [映画や本のあらすじを要約したり、登場人 物を紹介したりする/感想や批評を述べる] 	7月31日		
Lesson 10~12	<ul style="list-style-type: none"> 待ち合わせに遅刻[相手に謝る/相手を許す/相手を励ます] 家庭でのディスカッション[共感を述べる/残念な気持ちを述べ る/解決策を提案する] 英字新聞に投稿[要望や主張を述べる/理由を述べる] 	9月 30日	第2回 2月24日~ 27日	2月3日~6日
Unit2 Lesson 1~8	<ul style="list-style-type: none"> クラウドでディベート①[理由を述べる/例を挙げる] クラウドでディベート②[相手の意見に反駁する/相手の意見を 引用する] 経験談のスピーチ[できごとを生き生きと描写する/経験からア ドバイスをする] 遊びやスポーツを紹介[ルールや手順を順序立てて説明する/ 聞き手の知識に合わせて説明する] 	10月 31日		
		<ul style="list-style-type: none"> 日本をPR[事実と意見を区別して述べる/文化や習慣を説明す る] 物事の両面を伝える[利点と欠点を述べる/話題を発展させる/ 話題を変える] 読み手を納得させる[自分の主張について理由を説明する/理 由を要約してまとめる] 読み手を説得する[人の発言を直接引用する/条件を出して意 見を述べる/説得する] 	1月20日	

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	家庭	家庭基礎	必修	2	6	4	2
使用教科書	東京書籍		家庭基礎 自立・共生・創造				
指導目標	自分らしく主体的に人生を歩むために、必要な知識や技能を身につけるとともに、暮らしや生き方を社会の課題と結びつけて考え、新しい価値観や生活観、行動を生み出すことを目指す。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
1.家族・社会との共生	p.12~37 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月18日 ~19日
	p.38~85 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	6月30日		
2.生活の自立	p.86~101 第6章 食生活をつくる(栄養素と食品)	7月31日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日 ~6日
	p.102~185 第6章 食生活をつくる(生涯の健康と食生活) 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	9月30日		
	p.186~213 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む	10月30日		
3.生活の創造	p.214~219 第11章 これからの生活を創造する	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	家庭	家庭実践	選択	2	6	4	2
使用教科書	東京書籍		家庭基礎 自立・共生・創造				
指導目標	家庭基礎で学んだことを、生活に活かすために、主体的かつ実践的に取り組む。 学んだ知識・技能を生かして、生活の中にある様々な課題の解決を目指し、テーマを設定し、自分の生活を設計する。 生涯の健康を見通して、食生活（調理実習）を中心に学ぶ。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング日
1.調理の 基本	p.122~185 第6章 食生活をつくる ・食品の選択と保存・生涯の健康と食事計画	5月30日	第1回 8月25日 ~27日	8月18日 ~19日
	実習① 自分の食事① *あさりのパスタ *サラダ 実習② 自分の食事② *照りマヨ豚丼 *みそ汁	6月30日		
	実習③ エコ・クッキング *ドライカレー *トマトのサラダ	7月31日		
	実習④ 西洋料理 *パン *ハンバーグ *コンソメスープ	9月30日	第2回 2月24日 ~27日	2月3日 ~6日
	実習⑤ 中華料理 *麻婆豆腐 *ご飯 *春雨サラダ *杏仁豆腐	10月30日		
2.生活の 創造	食文化としての調理 〔おせち料理〕 *錦糸卵 *田作り *栗きんとん *なます *雑煮	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	情報	情報 I	必修	2	4	4	2
使用教科書	東京書籍		新編情報 I				
指導目標	<p>1. 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>2. 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。</p> <p>3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
No.1~2	1章 情報で問題を解決する	6月30日	第1回 8月25日~27日	8月18日~21日
	2章 情報を伝える			
	2章 情報を伝える② <巻末>2進法の計算、16進法の計算			
No.3	3章 コンピュータを活用する① 21~25	7月31日		
	3章 コンピュータを活用する② 26~30			
No.4	4章 データを活用する① 31~35	10月30日		
	4章 データを活用する② 36~40			
No.5	5章 活動して提案する① 57~59		第2回 2月24日~27日	2月3日~6日
No.6	<巻末>Pythonのプロラミング、調査によるデータ収集の注意点、データ分析の基礎、データ分析における結果の読み解き方	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング 時数	テスト回数
2026	情報	情報活用	選	2	4	4	2
使用教科書	東京書籍		情報Ⅱ				
指導目標	<p>1. 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>2. 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。</p> <p>3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>						

単元	学習内容	レポート 締 切り	テスト範囲 及 び時期	スクーリ ング 日
No.1	実習編 P2～29 1章 情報社会 2章 コンテンツ	6月30日	第1回 8月25日～27日	8月18日～21日
No.2	実習編 P30～52 3章 データサイエンス 4章 情報システム			
No.3	理論編 P54～75 1章 情報社会 2章 コンテンツ	7月31日		
No.4	理論編 P76～106 3章 データサイエンス 4章 情報システム	10月30日	第2回 2月24日～27日	2月3日～6日
No.5	活用編 P108～131 問題解決学習の進め方 アンケートの作り方 プレゼンテーションのポイント			
No.6	資料編 P132～151 情報科に関連するさまざまな法律 電子メールの基本 色彩の基礎知識	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	宗教	宗教 I	必修	1	2	2	0
指導目標	自分を見つめ、良心について考える中で、自分が生きていく上で大切にしたいことを考える。イエスの人間像を学び、イエスの眼差しを通して自分と社会を見つめてみる。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング日
1.自分さがしの旅	・今は、「自分さがしの旅」の途上にあることを知り、そういう者としてマンガラート技法によって自分を見つめてみる	①5/7 ②5/28 ③6/30 (6/30にまとめて提出することも可)	単元2 「人間と良心」 まとめのレポート 提出締切: 8/4	7/14～ 16の登校可能日に 1時間を設定
	・自分を探すとは、自分を選びなおすことに他ならないこと、そしてその選びなおしは、自分を深いところで支え、許し選んでくれている存在との出会いから始まることを理解する。			
2.良心と人間	・人間は「良心」を通して「無限の善良さ=神」に憧れ、つながっており、神の声を聞く存在であることを理解する。(『歯型』を読む)	①9/17 ②10/8 ③11/5 ④12/17 (1/12にまとめて提出することも可)	単元3 「イエスと私たい」 まとめのレポート 提出締切: 1/28	1/12～ 14の登校可能日に 1時間を設定
	・良心とはどのような存在かを学び、良心の痛みを知る。(←オンライン授業)			
	・「人間は『顔を上に向けて生きる存在』である」という杉原千畝の価値観と彼の葛藤を知る。←ビデオ視聴とプリント教材			
3.イエスと私たち	◎ナザレのイエスとは誰か ・名前の意味 ・イエスの罪状書き(INRI)の意味	①9/17 ②10/8 ③11/5 ④12/17 (1/12にまとめて提出することも可)	単元3 「イエスと私たい」 まとめのレポート 提出締切: 1/28	1/12～ 14の登校可能日に 1時間を設定
	◎癒す人イエス ・イエスとハンセン病患者との関わり ・ダミアン神父の生き方を通してイエスの癒しを考える			
	◎赦す人イエス ・罪とは何かを知る ・『北の国から'84夏』を通してイエスがもたらした赦しの本質を知る			
	◎イエスと私たち ・イエスとペトロとの関わりを学び、イエスの眼差しを通して自分を見つめてみる。			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	宗教	宗教Ⅱ	必修	1	2	2	0
指導目標	日本キリスト教史を学び、平和や思想信条の自由の尊さへの理解を深め、立場や価値観の異なる他者との共生のあり方を考える。誰もが、「私は何者なのか」というアイデンティティを自覚し、その生に与えられた尊厳を侵されずに生きていく社会を思考する。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング日
1.日本 キリスト 教史	①永井隆の生涯 被爆地長崎から、信仰と平和を訴えた永井隆博士の生涯と思想を学び、日本のキリスト教史の根底に流れる人々の思いに触れる。	①4/23 ②5/7 ③5/21 ④6/11 (6/30に まとめて提 出すること も可)	単元1 「日本キ リスト教史」 まとめのレ ポート 提出締切: 8/4	7/14~ 16の登校 可能日に 1時間を 設定
	②信徒発見と明治期までの迫害 ・浦上四番崩れの代表的流刑地津和野における少年祐次郎の殉教物語を通して「命よりも大切なもの」を考える。			
	③愛のひとド・ロ神父と女部屋 ・荒野となってしまった故郷浦上に帰村した信徒達を天災と疫病が襲う中、病者と孤児達を救う為に立ち上がったド・ロ神父と岩永マキら「旅」帰りの娘達の活躍を知る。			
	④復活の丘と「被爆マリア」のメッセージ ・迫害や原爆投下などの痛みを、信者たちはいかに受け止め、立ちあがってきたのかを知った上で、「被爆のマリア」像へ捧げる「アヴェ・マリアの歌」を聴き、祈りを共にする。			
2.すべ ての人の 尊厳のた めに	①いのちの責任を求めて ・難民や無国籍の差別や迫害といのちに対する責任を考える。	①10/8 ②11/5 ③12/17 (1/12に まとめて提 出すること も可)	単元2 「すべての 人の尊厳 のために」 まとめのレ ポート 提出締切: 1/28	1/12~ 14の登校 可能日に 1時間を 設定
	②私は何者なのか ・現代社会に溢れる「あたりまえ」や「普通」の思考が、それにあてはまらないと自覚する人々の淘汰、排除に繋がっている現状を知る。			
	③自分らしい生き方 ・『私はわたし』であり、他者とは違うことがたくさんあることこそが「あたりまえ」という価値観を共有する。・すべての人が「極めて良い存在」「愛されている存在」と自覚する道を考える。			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	宗教	宗教Ⅲ	必修	1	2	2	0
指導目標	死や自己価値といった人生の根本問題を見つめ、考えることにより、神からかけがえのないものとして生かされ、愛されている人間の神秘に触れます。また、この学習を通して心から祈ることを学び、神の似姿として生きる力を育みます。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング日
1. 恵み を生きる …自己価値 の実感を 求めて	①自己価値をめぐる3つの問いとエクササイズ ・質問によって自己イメージを振り返ると共に、エクササイズを通しての自己イメージの変化を味わう。	①4/23 ②5/7 ③5/21 ④6/11 (6/30に まとめて提 出すること も可)	単元1 「恵みを生 きる」 まとめのレ ポート 提出締切: 8/4	7/14~ 16の登校 可能日に 1時間を 設定
	②LonelinessとSolitude ・孤独感と孤独の違いを理解した上で、Solitudeの意味と大切さを知る。			
	③神の愛と自己価値の実感 ・自分に対する見方を神との関係から考え直す			
	④恵みを生きる ・「愛にふさわしい者が愛されるのではなく、愛を受け入れる者が愛にふさわしくなる」ことを理解する。			
2. 「生命 のアンソ ロジー」 -様々な人の 生き方や作品 を通してこれ まで宗教で学 んだ事をさら に深める-	①井深八重さん-神山復生病院初代看護婦長 ・人間の尊厳についての理解を深める。 ・自らの生き方に誇りと覚悟をもった姿に倣う点を探す。	①9/17 ②10/8 ③11/5 ④12/17 (1/12に まとめて提 出すること も可)	単元2 「生命のア ンソ ロジー」 まとめのレ ポート 提出締切: 1/28	1/12~ 14の登校 可能日に 1時間を 設定
	②田村恵子さん-ガン看護専門看護師 ・死に逝く人の心と向き合う田村さんの姿を通して傾聴することの力を知ると共に死にゆく人の希望に触れる			
	③フランクフルに学ぶ ・V.E.フランクフルの著書『夜と霧』の思想の中核を学び、「人間が生きる究極の意味は何か」を考察してゆく。			
	④「支えられて来た私」 ・「わたし」がこれまでに人から受けたものをじっくり思い出し、存在の豊かさ、人を信頼することの素晴らしさを味わう。			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2025	生活教養	論理文章表現	選択	2	4	4	0
使用教科書	第一学習社		小論文チャレンジノートvol.2				
指導目標	論理的な文章を書く力を身につけ、論述を通して「思考力」「表現力」を高める。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
文章を書く 準備をする	意見と理由の書き方	5月30日	なし	8月18日 ～21日
	問題と原因の分析法	6月30日		
文章の構 成を考える	主題提示型の文章の書き方	7月31日		
	問題解決型の文章の書き方	10月15日		
文章を書く	課題型小論文の書き方	11月30日	なし	2月3日～ 6日
	小論文に挑戦	1月20日		

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	生活教養	課題探究	選択	2	4	4	0
使用教材	NHK高校講座		総合的な探究の時間				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマから、自分で「課題」を見つけて調べる。 自分で調べるべき課題を設定し、自分の力で探究学習を進める。 自分で考える力・生きる力を身につけ、自分で問題を解決できるようになる。 						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
コミュニケーション	1. あなたが人とつながることで何が生まれるか?①	5月30日	なし	8月18日 ～21日
	2. あなたが人とつながることで何が生まれるか?②			
社会参加	3. あなたはどのように社会の役に立てるか?①	7月31日		
	4. あなたはどのように社会の役に立てるか?②			
福祉	5. あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか?①	7月31日		
	6. あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか?②			
環境	7. あなたが身のまわりの環境を今のままにするとどうなるのか?①	10月31日		
	8. あなたが身のまわりの環境を今のままにするとどうなるのか?②			
仕事	9. あなたは将来、どのような仕事を選択するのか?①	10月31日	なし	2月3日～ 6日
	10. あなたは将来、どのような仕事を選択するのか?②			
地域	11. あなたはどんな町であれば住みたいか?①	1月20日		
	12. あなたはどんな町であれば住みたいか?②			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクリング時数	テスト回数
2026	生活教養	進路探究	選択	1	2	2	0
使用教材	NHK高校講座		「仕事のリアル」				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「好き・得意・大事にしたい価値観」を言語化し、自己理解を深める。 ・興味のある学問や職業が社会のどんな課題を解決しているか調べる。 						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクリング日
1 ・ 自己理解を深める	1.自分深堀りシート①」に取り組み、今の自分(の興味・関心・価値観)を知る。	7月31日		8月18日 ～21日 教科からの希望日を記入
	2.ワークブック『世界一やさしい才能の見つけ方』(静岡市立図書館の電子書籍を利用)によって自分の強みを発見する			
2 ・ 仕事研究	NHK高校講座「仕事のリアル」から自分の興味がある番組を視聴してその仕事为社会にどのように役立っているかを知る。(5番組を視聴 番組①は必須)			
3 ・ 学問研究	「自分深堀りシート②」に取り組み、未来の自分を考え、興味のある学問を発見する。	1月30日		
	マナビジョン「学問を調べる」を使って自分の興味のある学問について調べる。 https://manabi.benesse.ne.jp/shokugaku/learning/			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026	生活教養	ボランティア活動	選択	2	4	4	0
使用教材	無し						
指導目標	・社会性やコミュニケーション能力を育み、多様な価値観に触れることで視野を広げる。・周囲や社会に貢献する喜びを通して自己肯定感を高める。・様々な人との交流を通して人間理解を深める。						

単元	学習内容	レポート締切り	テスト範囲及び時期	スクーリング日
事前準備	事前準備:①活動の選定。以下の具体例を参考に活動内容(活動先)を選定する。 A:学習・子ども支援:学童保育や保育園・こども園などでの補助 B:地域・環境活動:街のゴミ拾いや、地域イベントの運営サポート。 C:福祉・動物保護:福祉作業所で作業、介護施設でのレクリエーションや、保護犬・保護猫の世話。 ※活動は単発のものよりも、継続的に行うものの方が得るものが大きいので、そのような活動を選ぶようにしましょう。	4月30日		4月23日までの自由登校日の中で1時間
	事前準備:②活動計画書の作成提出 活動希望施設に連絡をし、受け入れ許可を得る。事前相談に行き、活動の詳細を確認したうえで活動計画書を作成、提出する。 ※活動先は、学校推奨施設から選ぶこともできます。	5月29日		5月29日前の自由登校日の中で1時間
ボランティア活動	活動:ボランティア保険に加入した上で活動します。活動した際は、所定の活動記録を書きます。 活動回数が延べ、〇回以上、活動時間が延べ〇〇時間であることが単位認定の条件となります。	7月30日		8月21日
活動報告	受け入れ施設から、「活動証明書」を作成してもらいます。 この証明書と自分が書いた活動記録に基づき、活動報告書を作成し、提出した上で、スクーリングにおいて口頭で活動内容と得たことを報告します。	1月30日		2月6日

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026		総合的な探究の時間 I	必修	1	2	2	0
使用教材	プリント教材「探究の手引き」		総合的な探究の時間				
指導目標	自分自身の興味・関心に基づき、解決したい課題を見つけ、調査・分析・表現するプロセスを通じて、主体的に問題解決できる力や、自己の在り方・生き方を考える資質・能力を育む。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
1 課題 設定	自分の興味や社会の出来事から、解決したい問い（テーマ）を見つける。	7月31日		8月18日 ～21日
2 情報 の 収集	問いを解決するのに必要な情報を インターネット、文献、インタビューなどを通じて集める。			
3 情報 の 整理 ・ 分析	以下のような「情報の整理・分類」を行う。 ①分類・構造化: 似たもの同士を集めたり、ロジックツリーやマトリクス図などを用いて関連性を見えやすくする。②取捨選択: 不要な情報を削り、必要な情報だけを残す。③視覚化: グラフや図表を用いて情報の全体像を可視化する。 以下のような「情報の「解釈・分析」を行う。 ①比較・傾向把握: クロス集計や平均・合計などで傾向を探る。 ②因果関係の特定: 「なぜその結果になったのか」という理由や背景を探る。 ③仮説の検証: 収集した情報に基づいて、自身の考えや仮説が正しいか確認する	1月20日	なし	2月3日～ 6日
4 ま と め ・ 表 現	上記の「情報の整理・分析」の結果をスライドのプレゼンテーションにまとめて発表する。「まとめのスライド」の提出がレポートとなる。プレゼンテーションは、スクーリング時に行う。			

年度	教科	科目	必・選	単位数	レポート回数	スクーリング時数	テスト回数
2026		総合的な探究の時間Ⅱ	必修	2	2	4	0
使用教材	プリント教材「探究の手引き」		総合的な探究の時間				
指導目標	自分自身の興味・関心に基づき、解決したい課題を見つけ、調査・分析・表現するプロセスを通じて、主体的に問題解決できる力や、自己の在り方・生き方を考える資質・能力を育む。						

単元	学習内容	レポート 締切り	テスト範囲 及び時期	スクーリング 日
1 課題設定	自分の興味や社会の出来事から、解決したい問い（テーマ）を見つける。（「探究の時間①」の学びを土台により具体的に詳細な問いまたは仮説を設定する）	7月31日	なし	8月18日 ～21日
2 情報の収集	問いを解決する（仮説を論証する）のに必要な情報をインターネット、文献、インタビュー、社会調査・実体験・実験などを通じて集める。			
3 情報の整理・分析	以下のような「情報の整理・分類」を行う。 ①分類・構造化: 似たもの同士を集めたり、ロジックツリーやマトリクス図などを用いて関連性を見えやすくする。②取舍選択: 不要な情報を削り、必要な情報だけを残す。③視覚化: グラフや図表を用いて情報の全体像を可視化する。 以下のような「情報の「解釈・分析」を行う。 ①比較・傾向把握: クロス集計や平均・合計などで傾向を探る。 ②因果関係の特定: 「なぜその結果になったのか」という理由や背景を探る。 ③仮説の検証: 収集した情報に基づいて、自身の考えや仮説が正しいか確認する	1月20日		2月3日～ 6日
4 まとめ・表現	上記の「情報の整理・分析」の結果をスライドのプレゼンテーションにまとめて発表する。「まとめのスライド」の提出がレポートとなる。プレゼンテーションは、スクーリング時に行う。			